

君ヶ野ダム公園桜まつり 4月5日 三多気桜まつり 4月11日・12日

担当:地域振興課
電話:272-8080

目次

4月5日(日)、君ヶ野ダム公園桜まつりが開催されました。
前日と違ってあいにくの雨模様の中、舞台では美杉連山のろし太鼓やよさこいソーラン、フラダンス、歌謡ショーなどが催され、満開の桜の下、広場では君ヶ野なべ、お茶席、地元物産展に大勢の来場者が至福のひと時を堪能されていました。



4月11日(土)・12日(日)、三多気桜まつりが開催されました。
毎年恒例の千本つき、ごくまき、バザーなどが行われ、県内外から大勢の方々が訪れ、満開の桜を堪能されていました。



君ヶ野・三多気 桜まつり	1
美杉小学校卒業式	2
やちほいくえんだより	2
美杉中学校入学式	3
美杉小学校入学式	3
まちづくり推進 連絡協議会 「つデイ」で情報発信	4
美杉地域の 医療を考える講演会	5
ノルディック ウォーキング競技会	6
高東山 セラピーウォーク	6
三多気蔵王 森林セラピーウォーク (参加者募集)	6
不動寺のごまきと 森林セラピーウォーク	7
世界11カ国から 研究員が来日	7
空き家見学会を開催	7
蔵王公園青葉まつり	8
「音声告知機」の 回収について	8
子育てサークル そらまめのお知らせ	8
美杉総合支所の 人事異動	8
はじめまして!! 「学生団体MORE」 です (団体の紹介と お願い)	9
お知らせ	10

津市立美杉小学校卒業式

3月19日（木）、平成26年度の卒業証書授与式が行われ、17人が巣立って行きました。

校長先生は、2つのことを、一つは、「皆さんの周りには、応援して下さる人がたくさんいます。どうしていいかわからなくなった時、遠慮なく応援団を頼りましょう。」ということ。もう一つは「皆



さんの自信と満足感に満ち溢れた笑顔は、毎日毎日繰り返し学習や練習を続けた結果です。中学校でも基礎・基本を大切に、豊かな人間性を培ってください。」と話されました。また、在校生は、「話し合いの時の真剣なまなざし、花を見守る優しい笑顔、掃除の時の輝く汗、困っている友達に差し伸べた温かい手、みんなみんなかけがえのない宝物です。」

と語り、「よりよい美杉小学校を造るため、みんなで力を合わせて頑張ります。」と誓いました。

式中は、厳粛な雰囲気の中、子ども達の透き通るようなすばらしい歌声が体育館に響いていました。6年間の思い出を振り返り、涙を流す子もいました。日々の生活の中で培われた、心の優しさを基として、たくましく、心豊かな人として成長してくれることを祈っています。



やちほいくえんだより

No. 5



3月25日（水）、卒園式が行われ、4人の年長児が八知保育園を巣立って行きました。

たのしかったこと、うれしかったこと、かなしかったこと、くやしかったこと、かンぱったこと、保育園生活の中でいろんなことを経験し、子どもたちはとてもたくましく成長したように思います。小学校に向けて「勉強がんばる」、「お友だちたくさんできるかな」、「どんな給食がでるかな」など、期待や不安があるようでしたが、どの子もみんな自信をもったいい表情をしていました。小学校にいても、4人が仲よくお互いを思い合い、学校生活を送ってくれたらと思います。

ひとりひとりが自分らしく、伸び伸びと成長していってくれますように。卒園おめでとう！



津市立美杉中学校入学式

4月7日（火）、美杉中学校で平成27年度入学式が行われました。当日は、少し雨模様で肌寒い日でしたが、会場は希望に満ちあふれていました。

式は、新入生17人の堂々とした入場で始まり、点呼では、一人ひとりのとても気持ちのよい返事が響きました。

山本潔校長の式辞では、充実した中学校生活となるよう、心に決めた目標「志」を立てて、自分のよさを伸ばし、何事にもチャレンジ精神で頑張っていきましょうと、励ましの言葉が送られました。また、在校生代表の藤田真歩さんからは、新入生に向けて、中学校生活をわかりやすく紹介しながら、心のこもった歓迎の言葉が送られました。

そして、新入生代表の田居零音さんが、中学校の生徒としての誇りを持ち、仲間を信じ、互いに支え合って精一杯の努力をしていきますと、力強く誓いを述べました。

式が終わり、新入生が退場するうしろ姿に、美杉中学校の生徒となった満足感を感じました。



津市立美杉小学校入学式

校舎前で咲き誇るハナモモとサクラに祝福されて、平成27年度の美杉小学校入学式が4月6日（月）に行われ、5人の新1年生が入学しました。

入学式前には、保護者に付き添われて登校した新入学児童が、校舎の昇降口に設置された「入学式式場」の看板と共に写真を撮るなど、微笑ましい光景も見られました。

入学式では、校長先生が、お祝いのお話の中で『おおきなかぶ』の絵本を読まれました。そして、「みんなの力を合わせてやっとカブが抜けたように、一人ではできないことでも、みんなが協力するとできることがある。1年生のみなさんも、そんな経験を大切にしていましょう。」と話されました。その後、校長先生から真新しい教科書を一人ずつ手渡してもらい、嬉しそうに「ありがとうございます」と答えていた新1年生と、その姿をととてもほっとした表情で見守っておられた保護者の方の姿が印象的でした。人数は5人で、少し寂しさを感じましたが、一人ひとりがやる気に満ちた表情を見せていたこともあり、元気な返事と相まって、頼もしさも感じました。これから始まる小学校生活の中で、明るく伸び伸びと成長して



いてくれることでしょう。新入学児童5人を含めて72人でスタートした今年の美杉小学校。子ども達一人ひとりの成長を地域の人みんなで見守っていきたいと思いました。

美杉地域まちづくり推進連絡協議会 「つデイ」で地域の情報発信

美杉地域まちづくり推進連絡協議会は、3月24日に東京日本橋の三重テラスで開催された第18回「つデイ」で、2回目の美杉地域の情報発信を行いました。

会場に入っすぐの場所に多気の郷元気づくり協議会のこけ玉体験コーナーと展示、その奥には伊勢本街道を活かした地域づくり協議会と森林セラピー基地運営協議会、名松線を守る会によるそれぞれの



紹介コーナーが配置されました。美杉自慢の食の振る舞いには、八幡地域活性協議会のひの菜、竹原地域活性化協議会の梅干とあられ、太郎生地域づくり協議会提供の「涌水米」と美杉茶が準備され、来場者は用意されたテーブルでくつろぎながら舌鼓を打っていました。

10時のオープン直後の来場者の出足は鈍く、みんなで気をもみましたが、11時を過ぎる頃には会場に用意した椅子が満席になるほどの盛況となり、会員の皆さんはおもてなしに走り回っていました。こけ玉の体験コーナーには子どもたちも押しかけ、土を触っては歓声を上げ、できあがったこけ玉を嬉しそうに持ち帰っていきました。

初めて訪れたという三重テラスの近くの町内会長さんは、「こんなに賑やかな催し物が開かれていること自体を知りませんでした。今まで

三重県には縁もゆかりもなかったのですが、これからはたまには三重テラスを覗いてみます。美杉のイベントをするときには、ぜひ事前に連絡をください。」と、嬉しそうに語ってくれました。チラシをもらって初めて顔を出したという家族連れの男性は、「今日は孫の卒業式なのですが、楽しそうなチラシだったので帰りに立ち寄ってみました。お米も梅干も漬物も、東京ではなかなか味わえない逸品です。一度美杉を訪ねてみたいくなりました。」と、感動しきりでした。事前のチラシ配布と当日の市職員による玄関前での呼び込みの甲斐があって、3時頃にはこけ玉も振る舞いの食も底を突くほどの盛況となり、その後に訪ねていただいた方々には大変ご迷惑をかけてしまうほどでした。



つデイでの美杉の情報発信は今回で2度目となり、名松線の紹介に協力した昨年8月のイベントを合わせると、まちづくり推進連絡協議会の三重テラスでの活動は今回で3度目となりますが、首都圏での全てのイベントの宣伝チラシ配布には、毎回、東京三重県人会の方々のご協力をいただいています。三重県人会のご協力に深く感謝申し上げますとともに、これからの美杉地域の活動に対するご支援も心からお願いしたいと思います。

竹村三重大学大学院教授と四方県立一志病院院長による

美杉地域の医療を考える講演会を開催

3月末の高齢化率が55.25%に達した超高齢地域の美杉の医療について、地域住民の方々とともに考えようという講演会が、3月20日（金）に美杉総合文化センター多目的ホールで開催され、地域医療に関心を持つたくさんの方々にご参加いただきました。

講演会は、三重大学大学院医学系研究科家庭医療学教授の竹村洋典先生と県立一志病院院長



の四方哲先生のお話で始まり、その後、両先生と参加された住民の方々との意見交換が行われました。

初めに講演に立たれた竹村先生は今注目を集めている「総合診療」に触れ、「年齢が高くなればなるほど抱える病気も多くなる。いろんな病気の治療ができる医師がいなければ、一人でいくつもの病院を回らなければならなくなり、本人も大変。在宅でできるだけの医療を受けて、最後までいっしょにいてくれて、見送ってくれる医師が求められている。一志病院には、そんな志を持った医師が集まり、日々総合診療を学んでいるので、せいぜい一志病院を利用して欲しい。」と語り、一志病院が県立であることの意味にも触れ、「美杉と白山の人口は、市全体の5%程度に過ぎない。そんなところにある県立病院は、若い医師を育てる役割を担っている。若い医師は、一志病院で学んで全県下に散らばっていく。一志病院で学んだことを、県内各地で実践している。一志病院がいい病院でなければ、いい医師は育たない。ここに、一志病院が県立である意味がある。一志病院の医師は異動で変わり過ぎるという意見もあるが、若い医師を育てる病院でもあるということを理解して欲しい。」と住民に語り掛けられました。



竹村洋典先生



四方哲先生

四方先生も、「竹村先生に誘われて、2年半ほど前に一志病院に来た。一志病院には、竹村先生を慕って9人の医師が来ている。皆さんは医療を受けるだけでなく、若い医師に、地域の文化や伝統、地域の食事に至るまで、生活全般を教えてあげて欲しい。」などと話され、住民へのお願いとして、「美杉の医療を考えるのは、地域住民が主役。地域全体で美杉の医療を考え、意見をまとめて市や県に出して欲しい。」と熱く語られました。



両先生と参加者との意見交換

講演を聞いた参加者からは、「住民と医師で地域医療を支えていかなければならないことを痛感している。両者がもっと身近になりたい。」とか、「住民自らがアクションを起こさなければいけない。一志病院の存続のために、住民も頑張っていきたい。」などの意見が出されていました。

第3回ノルディックウォーキング競技会

3月22日(日)、君ヶ野ダム湖畔を舞台にして今年で3回目となるノルディックウォーキング競技会が開催されました。この競技会は、全国で唯一美杉町で行われており、年々参加者も増え、県外から前泊をして参加する方も増えてきています。この日参加した41人は、ダム湖畔を吹き抜ける春風を体いっぱい浴びながら、爽やかな汗を流していました。



過去、未来へ挑む自分との戦いというテーマのとおり、他者との競争という意識よりも、自分への挑戦の場として定着してきているように感じました。

また、地元「竹原地域活性化協議会」の皆さんが、参加者に『楽しんでもらおう』、『喜んでもらおう』ということで、様々な取組みを展開していただくことで、この競技会は支えられています。このような地域の活気や熱意、笑顔が参加者の心を確実に癒していくのだと思います。

淡墨桜と高東山セラピーウォーク

3月29日(日)、津市森林セラピー基地運営協議会君ヶ野拠点部会が主催する「淡墨桜と高東山セラピーウォーク」が開催されました。天候はあいにくの雨模様でしたが、参加者84人全員が完歩しました。レークサイド君ヶ野を出発し、高東山山頂を経て、美杉町竹原の中原地区に到着。

そこで、参加者を待っていたのが、『淡墨桜』と美味しい豚汁と採れたて新鮮野菜でした。

咲き誇る桜の見事な姿に参加者は圧倒されていました。

小雨の中を歩き続け、体が冷えていた参加者を温めたのは、豚汁のぬくもりではなく、参加された方をもてなそうと準備をしている地元住民の心であり、笑顔やおもてなしだったように思います。

人の心を動かすのは、やはり人の心なんだということを改めて感じました。



三多気蔵王森林セラピーウォーク

参加者募集

開催日…6月7日(日) 9:30~15:15(雨天中止)

集合場所…三多気の桜駐車場

参加費…1,500円

持ち物…飲物、おやつ、敷物、軽登山靴、肌を出さない服装。

申込先…津市森林セラピー基地運営協議会

☎272-8082(地域振興課内)

このウォークは、毎年美杉町太郎生地区の全面協力により地元のお祭り「蔵王公園青葉まつり」に合流させていただき「宝探し」なども楽しんでいただくことができます。1度で2度楽しめるこの機会をお見逃しなく。

不動寺のごまきと森林セラピーウォーク

4月11日(土)、津市森林セラピー基地運営協議会・火の谷拠点部会が主催する『不動寺のごまきと森林セラピーウォーク』が開催されました。この日の朝は肌寒く、どんよりとした曇り空の下、雨の心配される天候でしたが、ウォーキング参加者25人の歩調に合わせて、次第に天候が回復していきました。また、不動寺までの道端に咲き誇る色鮮やかな桜が、春の陽ざしに煌々と輝き、参加者の目を楽しませ、高揚した気持ちが軽快な足取りとなり、予定していた時間より少し早目の到着となりました。参加者の皆さんには、八知地区活性化協議会や地域の方々によるおもてなしにより、きな粉餅などがふるまわれ、『つき立てのお餅は美味しいね！時折舞い散る桜の花吹雪の中で、食べるお餅は最高です！！』と、満面の笑顔で感想を述べられ、美杉の春を満喫していました。



世界11カ国からの研究員が来日

ミラノ万博へ向けて、和食を世界に発信する外国人の和食文化講師を育成するため、世界11カ国の研究員20人が、3月14日(土)に美杉町を訪れ、藤田こんにやくさんと、こんにやく作りを熱心に研修され、その後こんにやくを使った料理を皆で試食しました。中でも、こんにやくドーナツと羊かんが絶賛を浴びていました。

これを機会に「こんにやく」が世界各国に渡ることに繋がればと期待したいものです。

研修を終えた一行は、多気の「なかや」と、太



郎生の「たろっと三国屋」さんに分かれて宿泊し、山里の宿を満喫されたとのこと。

第2回空き家見学会を開催しました

3月29日(日)に、今年度第2回の津市空き家情報バンク登録物件見学会が開催されました。

この日は、あいにくの雨模様でしたが、名古屋や大阪からも参加者が訪れ、4件の物件を見学して回りました。

参加者の方々は、それぞれの物件の所有者や同行した(公社)三重県宅地建物取引業協会、津市田舎暮らしアドバイザーに物件や田舎暮らしについて様々な質問をしていました。中には、1歳のお子さんをおんぶしながら参加されたご夫婦もみえ、興味

深げに古民家やその周りに広がる豊かな自然を眺めていました。将来の田舎暮らしを思い描くことはできたでしょうか。



蔵王公園青葉まつり

日時 6月7日(日)雨天中止
 集合場所 太郎生多目的集会所前
 集合時刻 10時00分
 内容 集合場所から蔵王公園 までの散策、
 宝探し、ビンゴゲーム、蔵王鍋他
 問い合わせ: 太郎生出張所(☎273-0222)



※ 雨天時の実施有無の確認は、当日の8時30分から9時30分までに太郎生多目的集会所(☎273-0074)へ直接お問い合わせ願います。

「音声告知機」の回収について

旧美杉村当時に配布しましたケーブルシステム「音声告知機」がアナログ放送終了に伴い、使用できなくなっています。

つきましては、「音声告知機」を下記のとおり回収しますので、お手数をお掛けしますが回収にご協力をお願いします。

なお、家庭用ごみではなく、産業廃棄物になりますので、ごみ集積所に出さないようお願いします。

回収期間 5月1日(金)～6月30日(火)
 (土、日、祝日を除く)
 8時30分～17時15分)

回収場所 美杉総合支所地域振興課
 又は各出張所



問い合わせ 美杉総合支所地域振興課
 危機管理担当(☎272-8080)

子育てサークル **そらまめ**
 親子のふれあいと交流の場として、毎月開催しています。ぜひ気軽にお越しください。

ピクニック 5月8日(金) 10:30～昼食後解散
 場所: フットパーク美杉 持ち物: お弁当、飲み物等

さつまいも苗植え ※10月に収穫予定

5月29日(金) 10:30～12:00 ※雨天の場合、6月5日(金)に変更。

場所: 竹原宝生地内 (10:20に竹原三叉路集合)

持ち物: 長靴、スコップ、ジョウロ、帽子、飲み物、汚れてもいい服装等(軍手は支給)、お昼持込O.K!

くるりんマーケット (育児不用品無料交換会)

6月10日(水)～12日(金) 場所: 美杉保健センター

募集内容: ベビー・子ども服・靴・長靴、ママの服、マタニティ用品、ジュニアシート、三輪車、自転車、乗り物玩具、すべり台、ブランコ等

※詳しくは、6月号でお知らせします。

問い合わせ 美杉保健センター ☎272-8089

美杉総合支所の人事異動

4月1日付けで人事異動がありましたので、お知らせします。

これからもよろしくお願いします。

(総合支所長、課長級、主幹及び副主幹)

◎美杉総合支所長

(兼)都市計画部名松線復旧推進担当参事

鈴木 洋一

◎地域振興課

産業振興・環境担当副参事

菊田 文雄

過疎対策担当副参事

中林 生公

過疎対策担当主幹

木下 修

地域支援担当副主幹

安木 作

総務担当副主幹

芝山 由佳子

副主幹・下之川出張所長

杉谷 義之

副主幹・多気出張所長

小林 明美

◎市民福祉課

福祉担当副主幹

佐野 千奈

はじめまして!!

もあ

「学生団体 MORE」です!!



美杉町にお住まいの皆様、はじめまして!! 学生団体MOREと申します。

私たち学生団体MOREは、三重大学医学部・三重県立看護大学の医学生・看護学生、計22名で活動している学生団体(サークル)です。団体名のMORE(もあ)は、「もっと美杉を~にしたい」というメンバーそれぞれの思いに由来しています。

活動の目的は医療系学生という立場から、

「美杉地域にお住まいの皆様の医療に対する隠れた要望を探し出すこと」です。

アンケート調査や、紙面での調査ではなく、**地域にお住いの皆様と直接お会いし、直接お話を**する中で医療に対する要望を受け取り、それに対して学生という立場から行動を起こしていきたい、と考えています。

そのため、活動の拠点をここ、美杉町に置いています。

また、私たちの活動は、三重大学の研究の一環となっているため、三重大学医学部家庭医療学講座の竹村洋典教授や、県立一志病院院長の四方哲先生にもご協力を頂いています。

では、私たちMOREの主な活動をご紹介します。

主な活動

- ①美杉地域で開催されるイベントへの参加 (私たちが参加できるイベントがありましたら、是非ご紹介ください!!)
- ②美杉地域での「健康教室」の開催 (6月に八知地区での実施を計画しています。是非ご参加ください!!)



私たち学生は、美杉にお住まいの皆様とお会いできる事を楽しみにしております!!

Twitter: 学生団体MORE、@more_Mie_misugi と Facebook: 学生団体moreを開設しております!!

是非ご覧ください!! 今後とも学生団体MOREをどうぞよろしくお願い申し上げます!!

5月健康相談

下之川地域住民センターで血圧測定や尿検査等の健康相談を無料で実施しています。是非ご利用ください。

日時 1日(金)・22日(金) 9時30分～12時30分 場所 下之川地域住民センター

問い合わせ 相談時のみ ☎276-0333

相談日以外 ☎272-8084 (美杉総合支所市民福祉課)

三重県立一志病院健康教室

入場無料 申し込みは不要です。

前期第2回 使ってみよう！介護保険

講師：青木 智子 (一志病院社会福祉士)

日時 5月12日(火) 13時～14時 場所 一志病院管理棟2階会議室

問い合わせ 三重県立一志病院 外来 津市白山町南家城616

☎262-0600 (内線110) FAX262-3264 電子メールihos@pref.mie.jp

赤十字運動月間(赤十字社員増強運動) 市民福祉課

5月は『赤十字運動月間』です！ ご協力をお願いします！！

日本赤十字社は皆様の善意によって支えられており、血液事業・地震・台風等の災害による被災者の救護活動等、援助を必要とする人々のため広く愛の手が差しのべられています。身近な活動としては、火災や台風などの被害に遭われた方々に対し、毛布や日用品等の配布事業を行っています。

5月は『赤十字社資増強、社資募集運動』が実施され、各自治会長様にお世話をおかけし、とりまとめをお願いいたしております。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。なお、寄付金としては一世帯あたり350円を目途に、また日本赤十字社の人道、博愛及び奉仕という理念にご賛同いただける方は、社員としての社資にご協力いただきますようお願いいたします。

問い合わせ ☎272-8084 (美杉総合支所市民福祉課)

～森もり元気になろに！美杉～ (健康づくり推進員) からのお知らせ

私たちと一緒に“健康づくり”を楽しみましょう！！

津市健康づくり推進連絡協議会美杉支部として活動を始めて5年目がスタートしました。

健康づくり推進員は、健康について学び、自らが健康に、さらに地域にも健康づくりを広げていく活動をしています。健康づくり推進員の仲間を増やし、楽しく健康づくりをすすめていきたいです。

「健康づくり推進員になるのはちょっと…」と思う人は、私たちが企画する健康づくりのための活動に参加するだけでも大歓迎です。お友達やご家族と一緒にぜひご参加ください。

<活動予定>

9月：料理教室

10月：体操教室

11月：スクエアステップ



その他、講演会や市主催の研修会への参加、お楽しみ交流会なども企画しています。

問い合わせ ☎272-8089

(美杉保健センター)

【電話番号】美杉総合支所

地域振興課 059(272)8080・8082・8085

市民福祉課 059(272)8083・8084

※主な電話番号を記載しましたが、その他の電話番号などは、電話帳でお調べいただくか、美杉総合支所へお問い合わせください。